

# 評価実践 成果と課題

---

〇〇高等学校 〇〇 〇〇

# 科目「情報処理」

---

## 単元名

- 第3章ビジネス情報の処理と分析
  - 5節ビジネスと統計
    - ②統計的推測と技法

## 【指導項目】

- ABC分析
- 回帰分析
- その他の分析

# 単元の指導と評価の計画及び 観点別学習状況評価の進め方

---

01.単元の目標

02.単元の評価規準

03.指導と評価の計画

04.観点別学習状況の評価の進め方

(観点：主体的に学習に取り組む態度)

# 01.単元的目標

---

- (1)ビジネス活動における統計調査の意味や、目的に合った計算方法を身に付ける。
- (2)表計算ソフトを利用して、統計に関する関数の設定方法やグラフ作成を身に付ける。

## 02.単元の評価規準

---

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
統計の目的や活用方法を理解し、表計算ソフトを活用した効率的な分析技法を身に着け、作成することができる。	自ら考えて目的に応じた、さまざまな分析手法を活用し、その分析結果を適切に表現できる。	統計資料を分析するための方法について自ら学び、分析技法について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

# 03.指導と評価の計画（6時間）

---

## 第1次（3時間）

### ABC分析

1. 複合グラフの作成
2. ABC分析①
3. ABC分析②

↑評価実践

## 第2次（2時間）

### 回帰分析

1. 回帰分析①
2. 回帰分析②

## 第3次（1時間）

### その他の分析の技法

1. その他の分析の技法

# 04. 観点別学習状況の評価の進め方

---

## 授業の流れ

- ① 本時の目標の確認
- ② 提供データの配布
- ③ 表、グラフの作成
- ④ 分析（個人）
- ⑤ 分析内容の全体共有
- ⑥ まとめ・自己評価

## 評価実施方法

行動観察、レポートの記述内容



「粘り強い取組を行なおうとする側面」

「自らの学習を調整しようとする側面」

を一体的に見取り、

『主体的に学習に取り組む態度』を評価

# 【主体的に学習に取り組む態度】

## （ア）粘り強い取組を行なおうとする側面の評価

ワークシート・m a n a b a の記述内容を＜分析すべき事項＞と照らし合わせて、生徒の新たな気づきや変容を見取ることにより、粘り強い取組を行おうとする側面を評価する。

評価	B	A	C
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
主体的に学習に取り組む態度	<p>表やグラフから適切な分析を行うにあたって、おおむね粘り強く分析しようとしている。</p> <p>(判断の目安)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的事項に示された二つ以上の内容について気づき、分析しようとしている。</li> </ul>	<p>表やグラフから適切な分析を行うにあたって、十分に粘り強く分析しようとしている。</p> <p>(判断の目安)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的事項に示された二つ以上の内容について気づくとともに、発展的な事項に示されたいずれか又は複数の内容に気づき、分析しようとしている。</li> </ul>	<p>表やグラフから適切な分析を行うにあたって、粘り強く考察することができない。</p> <p>【手立て】つまずいている生徒には、机間指導等でヒントを与え、分析すべき事項に気づかせる。</p> <p>(判断の目安)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B評価に示された判断の目安を達成できない。</li> </ul>



# 〈分析すべき事項〉

基礎的 事項	<ul style="list-style-type: none"><li>○ A 区分、B 区分、C 区分について商品の区分わけができる。</li><li>○ 重点的に管理をすべき商品が分析できる。</li><li>○ 「売れ筋商品」がどの商品か分析できる。</li><li>○ C 区分の商品に対して、何かしらの対応が必要だと分析ができる。</li><li>○ グラフの要素が増えると読み取れる情報が増えると分析できる。</li></ul>
発展的 事項	<ul style="list-style-type: none"><li>○ A 区分の総売上金額が全体の何%を占めているか分析できる。</li><li>○ A 区分の商品を重点的に管理すると「売上の約 70%が確保できる」と分析できる。</li><li>○ A 区分の商品の売上が減少すると「売上全体に影響がでる」と分析できる。</li><li>○ C 区分の商品に対して、「価格改定」や「販売促進」や「商品の入れ替え」などの今後の検討や対応策が必要であると分析できる。</li><li>○ アルバイト先や知っている企業などで、分析されている身近な事例に気づける。</li></ul>

# (ア) 粘り強い取組を行なおうとする側面の評価

## 評価実践①

3. 分析で気づいたこと。(箇条書き)

(入力必須)

1.3

・バニラ、抹茶、チョコチップはA区分に該当され、売れ筋商品に当てはまる。  
・マンゴー、メロン、バナナはC区分に該当され、売り方の工夫や入れ替えなど、工夫をしなければいけないことが分かった。

基礎的事項に示された二つ以上の内容に気づき、分析を行っているため、B評価。

3. 分析で気づいたこと。(箇条書き)

(入力必須)

1.3

・A区分は売れ筋商品なので品切れを起こさないように管理しなければならない。  
・C区分はあまり売れていない為フレーバーをミックスするなどして売れるように工夫するか売れ筋商品をもっと置きあまり売れていないものを置くスペースを狭くする。

基礎的事項に示された二つ以上の内容に気づき、C区分の商品に対して、具体的な対応策を分析しているため、A評価。

# (ア) 粘り強い取組を行なおうとする側面の評価 評価実践②

3. 分析で気づいたこと。(箇条書き)

(入力必須)

1.3

A区分は人気があるので現状維持  
B区分は今ままで増やさず少なくもしないでいい  
C区分は値段の変更や違う商品と入れ替えも必要

基礎的事項に示された二つ以上の内容に気づくことはできていないが、C区分に対して、「商品の入れ替え」などの対応策が必要であることを分析しているため、B評価。

3. 分析で気づいたこと。(箇条書き)

(入力必須)

1.3

フルーツはあまり人気ない

B評価に示された判断の目安を達成できていないため、C評価。手立てとして、該当生徒には「逆に人気のものはなんだろうか？」や「人気のないフレーバーに対してどんな対応が必要か？」などの言葉がけを行った。

# 【主体的に学習に取り組む態度】

## （イ）自ら学習を調整しようとする側面の評価

m a n a b a のレポートに、「今日の授業でわかったこと」を記述させる。その記述内容から自ら学習を調整しようとする側面を評価する。

評価	B	A	C
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
主体的に学習に取り組む態度	学習した内容を踏まえて、表やグラフから分析し、自分の意見をおおむね調整しようとしている。 (判断の目安) ・基礎的事項に示された内容のいずれか又は複数について分析し、自らの新たな気づきとして具体的に記述しようとしている。	学習した内容を踏まえて、表やグラフから分析し、自分の意見を十分に調整しようとしている。 (判断の目安) ・基礎的事項及び発展的事項に示された内容のうち、それぞれいずれか又は複数について分析し、自らの新たな気づきとして具体的に記述しようとしている。	表やグラフから分析するにあたって、自分の意見を調整することができない。 【手立て】レポートへのコメントなど、個別に指導し、今後に生かす。 (判断の目安) ・分析について具体的に分析し、気づきを記述することができない。

# (イ) 自ら学習を調整しようとする側面の評価

## 評価実践①

4. 今日の授業でわかったこと。新しい発見。(箇条書き)

(入力必須)

1.4

・売れ筋商品と売れていない商品を見分け、工夫をして売れるようにするなど考える。

4. 今日の授業でわかったこと。新しい発見。(箇条書き)

(入力必須)

1.4

IF関数など友達に教わりながら復習できた

学習した内容を踏まえて、表やグラフから分析することを意識できているという観点から自分の意見を調整しようとしているため、B評価。

「IF関数など友達に教わりながら復習できた」という具体的な記述から、自らの意見（わからなかった事）を他者との意見をきいて調整することができ、新たな気づきがあった、として捉え、B評価。

# (イ) 自ら学習を調整しようとする側面の評価 評価実践②

4. 今日の授業でわかったこと。新しい発見。(箇条書き)

1.4

いろいろ分かった!

気づきについて具体的に記述ができていないため、C評価。手立てとして、「いろいろとは具体的に何か？」など生徒の気づきを更に深められるよう言葉かけを行った。

4. 今日の授業でわかったこと。新しい発見。(箇条書き)

1.4

企業やお店が私たちが買ったものを分析し、経営するうえで努力しているのが分かった。

今回、学習した内容を自分の生活と照らし合わせ考えることができていたため、発展的事項を満たしていると捉え、A評価

# 【主体的に学習に取り組む態度】

## （ウ）二つの側面から主体的に学習に取り組む態度の評価

前述した（ア）と（イ）の二つの側面から「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行うと次のとおりである。

自ら学習を調整しようとする側面の評価	A 評価	B	A	A
	B 評価	B	B	A
	C 評価	C	B	B
		C 評価	B 評価	A 評価
	粘り強い取組を行おうとする側面の評価			

# (ウ) 主体的に学習に取り組む態度の評価 評価実践

クラス全体での評価結果は左図の通りであった。

自ら学習を調整しようとする側面の評価	A評価	B	A	A
	B評価	B	B	A
	C評価	C	B	B
		C評価	B評価	A評価
	粘り強い取組を行おうとする側面の評価			

3. ABC分析		
粘り強い取組を行おうとする側面	自ら学習を調整しようとする側面の評価	主体的に学習に取り組む態度の評価
A	A	A
B	A	A
B	B	B
B	C	B
B	C	B
B	B	B
A	B	A
B	C	B
C	C	C
B	B	B
A	B	A
B	A	A
A	B	A
B	B	B
B	B	B
A	B	A
A	B	A



# 課題①

---

ワークシートの見直し

○自ら学習を調整しようとする側面の評価について、

「**自分**で分析して気づいたこと」だけでは見取りきれなかった。

→「**他者の分析結果を聞いて、改めて気づいたこと**」の項目を追加が必要。

## 課題②

---

今回はmanabaによるレポート評価が中心であった。

そのため、教員からのコメントもしやすく、

生徒への手立ての仕方も伝えやすかったように感じる。

→しかし、生徒が教員からのコメントを読んで

どう感じたか、どう考えたかが教員側にわからなかった。

## 課題③

- ・本時の目標の明確化

  - ↓（何が分かるようになるのか、何が出来るようになるのか）

- ・展開

  - ↓（なぜわかったのか、なぜできたのか）

- ・振り返り

  - （次にどう生かすのか）←この時間が少なかった。

**評価をもとに生徒がどう振り返るのが重要**